

令和8年度 9月補正予算案等概要

I 総括

1 歳入歳出予算補正

(1) 補正規模

(単位:千円)

	当初予算	現在予算	今回補正	補正後予算
一般会計	1,131,811,000	1,132,620,016	1,343,964	1,133,963,980
特別会計	691,900,951	692,049,951	804,902	692,854,853
企業会計	363,029,561	363,029,561	232,374	363,261,935
合 計	2,186,741,512	2,187,699,528	2,381,240	2,190,080,768

【参考】

今回補正における一般会計の財源内訳

○一般財源	・繰 越 金	200,872
○特定財源	・国庫支出金	544,092
	・県 支 出 金	11,000
	・市 債	588,000

(2) 補正の概要

(単位:千円)

① 公共事業等	<u>1,388,559</u>
② その他	<u>288,681</u>
③ 市債管理特別会計	<u>704,000</u>

2 繰越明許費補正〔5件〕

(単位:千円)

追加補正額	<u>2,753,836</u>
-------	-------------------------

3 債務負担行為補正〔5件〕

(単位:千円)

追加補正額	<u>587,178</u>
-------	-----------------------

Ⅱ 内容

1 歳入歳出予算補正

① 公共事業等

1,388,559 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
街路整備事業 都市計画道路整備事業(国道3号線等)の増額	908,185	道路下水道局
公共下水道整備事業【下水道事業会計】 下水道管路改築更新事業の増額	232,374	道路下水道局
港湾整備事業 臨港道路整備事業等の増額	211,000	港湾空港局
河川整備事業 流域貯留浸透事業(源蔵池)等の増額	37,000	道路下水道局

② その他

288,681 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
ワクチン接種 新型コロナウイルスワクチン接種の自己負担額軽減等	101,467	保健医療局
今宿野外活動センターリニューアル事業 インプレスライドに伴う増額	66,312	市民局
路上喫煙対策事業 条例改正に伴う分煙施設整備に向けた調査等	20,000	市民局
システム改修【国保特会】 国の制度改正に対応するためのシステム改修費の増額	100,902	保健医療局

③ 市債管理特別会計

704,000 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
一般会計への市債収入金繰出金	704,000	財政局

2 繰越明許費補正〔5件〕

2,753,836 千円

(単位:千円)

工期の都合により、年度内に完了しないもの
※庁舎管理営繕維持補修 外 (市債管理特別会計を含む)

3 債務負担行為補正〔5件〕

587,178 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
本庁舎議場空調設備等更新建築その他工事	482,803	財政局
消防学校機能強化	14,876	消防局
水道料金等検針・徴収業務委託及び お客さまセンター運營業務委託【水道事業会計】	89,499	水道局

令和7年度決算概要

＜一般会計・特別会計＞ (単位: 千円)

区 分	一 般 会 計	特 別 会 計
最終予算額	1,222,418,259	717,444,420
歳入決算額(A)	1,153,276,746	659,274,749
歳出決算額(B)	1,134,940,722	653,842,121
形式収支額(C=A-B)	18,336,024	5,432,628
翌年度繰越財源(D)	8,816,227	1,520,753
実質収支額(E=C-D)	9,519,797	3,911,875
摘 要	【歳入過不足額】 △ 23,367,288 【歳出不用額】 32,887,085	主な実質収支 国民健康保険事業 1,940,456 介護保険事業 1,372,223 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 294,292 後期高齢者医療 246,884

＜企業会計＞ (単位: 千円)

区 分		収益的収支	資本的収支
下水道事業	収入	58,342,022	31,193,127
	支出	50,643,682	54,516,891
	差引	7,698,340	△23,323,764
集落排水事業	収入	446,090	72,065
	支出	442,954	193,479
	差引	3,136	△121,414
モーターボート競走事業	収入	78,386,825	-
	支出	72,833,067	7,343,042
	差引	5,553,758	△7,343,042
水道事業	収入	41,724,226	11,724,658
	支出	34,142,678	28,875,001
	差引	7,581,548	△17,150,343
工業用水道事業	収入	269,989	211,000
	支出	289,193	259,648
	差引	△19,204	△48,648
高速鉄道事業	収入	47,280,613	22,530,730
	支出	36,814,545	36,155,206
	差引	10,466,068	△13,624,476
企業会計 計	収入	226,449,765	65,731,580
	支出	195,166,119	127,343,267
	差引	31,283,646	△61,611,687

令和7年度企業会計利益の処分

(単位: 千円)

区 分	当年度未処分利益剰余金	利益剰余金処分額				翌年度繰越利益剰余金
		(資本金)	(減債積立金)	(建設改良積立金)	(一般会計繰出金)	
下水道事業	13,119,240	6,650,165	6,469,075	-	-	-
集落排水事業	-	-	-	-	-	-
モーターボート競走事業	17,656,834	3,000,000	-	-	4,000,000	10,656,834
水道事業	10,079,442	6,490,450	3,588,992	-	-	-
工業用水道事業	412,007	-	-	-	-	412,007
高速鉄道事業	-	-	-	-	-	-
企業会計 計	41,267,523	16,140,615	10,058,067	-	4,000,000	11,068,841

令和7年度決算に基づく健全化判断比率等について

「健全化判断比率」は、いずれも早期健全化基準を下回る水準

- 「実質公債費比率」は、6.9%で早期健全化基準を18.1ポイント下回る
- 「将来負担比率」は、50.4%で早期健全化基準を349.6ポイント下回る

健全化判断比率の各指標	令和7年度決算	早期健全化基準	財政再生基準	摘要
実質赤字比率【フロー指標】 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率 一般会計等の実質赤字額 標準財政規模	—	11.25%	20%	○実質収支額 一般会計 95億円の黒字
連結実質赤字比率【フロー指標】 全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率 連結実質赤字額 標準財政規模	—	16.25%	30%	○実質収支額 全会計 733億円の黒字 ・主なもの 一般会計 95億円 モーターボート競走 204億円 下水道 168億円 水道 146億円
実質公債費比率【フロー指標】 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率（3か年平均） (地方債の元利償還金＋準元利償還金) － (特定財源＋算入公債費等) 標準財政規模－算入公債費等	6.9%	25%	35%	前年度から0.8ポイント低下 (参考：令和6年度決算 7.7%)
将来負担比率【ストック指標】 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率 将来負担額－充当可能財源等 標準財政規模－算入公債費等	50.4%	400%		前年度から8.4ポイント低下 ○将来負担額の内容 市債 13,240億円 債務負担 425億円 公営企業 2,596億円 一部事務組合等 15億円 退職手当 965億円 三セク等 165億円 (参考：令和6年度決算 58.8%)

資金不足比率		令和7年度決算	経営健全化 基 準	財政再生 基 準	摘 要
資金不足比率 【フロー指標】 公営企業ごとの 資金の不足額の事 業規模に対する比 率	モーターボート競走	—	20%		
	集落排水	—			
	下水道	—			
	水道	—			
	工業用水道	—			
	高速鉄道	—			
	中央市場	—			
	港湾整備	—			
	市営渡船	—			

※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、黒字の場合「—」で表示します。

※ 資金不足比率については、資金不足が生じていない場合「—」で表示します。

※ 令和7年度の標準財政規模は、4,870億円です。

※ 標準財政規模とは、税収や普通交付税など各自治体に共通した標準的な収入のことで、自治体が通常水準の行政サービスを提供するうえで必要な一般財源の目安となる数値です。